

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	統計情報提供事業			事業コード	0058
担当課等	所属名	市長公室 企画調整課	担当係名		
	課長名	市長公室 企画調整課	担当者名	関口 寛	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード 8	施策	計画的で効率的な行政運営の推進	コード 2
	基本事業	計画行政の推進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 2款 5項 1目 統計調査事務(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒ (開始年度 不明年度～)					
事務事業の概要	統計情報を提供することにより、すみよい街づくりなどの各種計画の基礎資料として、また、統計調査の関心を高め、円滑な調査の実施に寄与できるよう実施するもの					
根拠法令等	統計法第3条3号、盛岡市統計調査条例9条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
当市の統計情報を必要とする方への提供、統計情報の活用による施策の推進や結果の把握、評価等市政推進のため実施した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市民及び事業所等から調査の概要及び結果の活用方法について問い合わせがある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
平成21年4月に統計法が前面施工されたことに伴い、統計データの利用環境が整備されたことから、収集したデータの活用の幅が広がることが見込まれる。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市民の総数(住民基本台帳人口+外国人登録人口)	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) <input type="radio"/> インターネットによる統計情報の提供 <input type="radio"/> 統計関係書籍による統計情報の提供 <input type="radio"/> 電話、メール等による統計データの質問対応 <input type="radio"/> 情報公開室への統計情報の提供  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  <input type="radio"/> インターネットによる統計情報の提供 <input type="radio"/> 統計関係書籍による統計情報の提供 <input type="radio"/> 電話、メール等による統計データの質問対応 <input type="radio"/> 情報公開室への統計情報の提供	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. インターネットによる統計情報の提供	単位	表
				B. 統計関係書籍の作成数	単位	冊
				C.	単位	件
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	<input type="radio"/> 各種計画の基礎資料として統計情報を利用してもらう。 <input type="radio"/> 統計分析を行うための資料として、統計情報を提供する。 <input type="radio"/> 統計情報をわかりやすく提供することで統計調査への関心を高めてもらう。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 統計情報提供件数(情報公開室受付分) 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	件
				B. 統計情報提供件数(企画調整課受付分) 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	件
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	計画的に行政事務を進める	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	総合計画実施計画の達成率(事業費ベース)(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市民の総数(住民基本台帳人口+外国人登録人口)	人	293,289	292,964	292,964	298,148	298,148	298,148	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	インターネットによる統計情報の提供	表	1240	1376	1500	1513	1600	1700	年度
活動 指標B	統計関係書籍の作成数	冊	3	2	3	1	3	3	年度
活動 指標C		件							年度
成果 指標A	統計情報提供件数(情報公開室受付分)	件	153	175	175	104	175	175	年度
成果 指標B	統計情報提供件数(企画調整課受付分)	件	64	63	63	54	63	63	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	184	194	192	191	191	191	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	184	194	192	191	191	191	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	184	194	192	191	191	191	*****
延べ業務時間数		時間	400	400	400	448	400	400	*****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	1,600	1,600	1,600	1,792	1,600	1,600	*****
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,784	1,794	1,792	1,983	1,791	1,791	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 統計情報を整理し、計画の策定や施策の推進に利用してもらうことで、計画的に行政事務を進めることに結びついている
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他 理由:
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 照会の多い統計情報について、ホームページに掲載し、利便性を高めることができる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 行政施策の計画・策定、及び民間企業の各種計画などあらゆる方面への影響がある。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 法定受託事務である基幹統計調査の結果を国、県でそれぞれ公表している。 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 国・県・市によって調査結果の取り扱いの範囲が異なるため、統廃合及び連携を計ることは出来ない。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容: 統計情報等をインターネットで提供することで、書籍関係の発行部数を抑制することができる。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 最低限の人員で実施している状況である。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 統計法に基づき、公平・公正に提供している。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 統計法に基づき、公平・公正に提供している

**4. 事務事業の改革案(Plan)**

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること ホームページについては、各種統計結果が公表され次第、当市に係る情報を適宜理解しやすいように整理し、掲載する。書籍に関しては、発行部数を必要最低限にとどめ、経費削減を図る。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) ホームページへの掲載方法の改善等、統計情報の分かりやすい提供に努める。書籍の発行部数については、前年度の状況を踏まえながら必要最低限にとどめ、経費削減を図る。</p>
---------	--

**5. 課長意見**

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>盛岡市統計書の刊行とホームページ上で各種統計情報の提供を行っている。活動指標であるインターネットによる統計情報の件数は増加傾向にあるが、できるだけスピーディな情報提供に努める必要がある。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携             </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>統計情報の提供は、迅速かつわかり易いもの、入手の容易性を向上させる必要があることから、ホームページ上による各種統計情報の提供件数を上げるとともに、グラフ化においてもさらにわかり易い形になるよう創意工夫を加える。</p>														